

「ベネッセアートサイト直島」 教育プログラムのご案内

2020年11月現在

ベネッセアートサイト直島 <https://benesse-artsite.jp/>

「ベネッセアートサイト直島」とは？



草間彌生「南瓜」 写真：安斎重男



犬島精錬所美術館 写真：阿野太一



豊島美術館 内藤礼「母型」2010年 写真：森川昇



地中美術館 写真：大沢誠一

ベネッセアートサイト直島は、瀬戸内海の島々でアートプロジェクトを展開している活動の総称です。アートを鑑賞していただくことだけが目的ではなく、日常の喧騒から離れた島という環境で普段とは違う時間の流れの中でアートと向き合い、自分にとっての「ベネッセ=よく生きる」とは何かを考えていただく場になることを目指しています。そのために、自由な解釈を導く現代アートを中心に、自然・建築・歴史・文化・人々の営みなど周りの環境と豊かな関係性を感じられる作品が選ばれており、アーティストがそれぞれの場に合わせて構想し滞在制作したものも多々あります。アート作品は様々な場所に点在しており、歩くこと、眠ること、考えること、すべてが鑑賞体験に繋がっています。

プログラム要素



自然×建築×アート

アート作品を学生同士で対話をしながら鑑賞することによって、自由なもの
の見方、観察力、共感力を身に付けることを目指します。自然や建築と作品との
関わりについて考えることもできます。



地域×アート

直島・本村地区などの集落で展開しているアートプロジェクトの鑑賞や、その
土地の文化歴史に触れることを通じて、発見したことや魅力に感じたことを記
録していくフィールドワークなどを行います。地域におけるアートプロジェク
トの役割について考えることもできます。



表現×共有

目的やテーマに沿ったグループディスカッションやワークショップなどを行い、
お互いに表現/発表しあうことで更に視野を広げ、考えを深めていきます。

参考例：テーマ別プログラム案

テーマ案	社会貢献・SDG's	STEAM・表現・制作	自己理解・将来の方向性
課題意識 テーマ設定	<ul style="list-style-type: none">・自分と地域とのつながり方、社会とのつながり方について考える・理想の生き方やコミュニティの在り方とは	<ul style="list-style-type: none">・アートの役割とは何か・共感力、創造力、表現力を養う	<ul style="list-style-type: none">・自分にとって大切なものは何か・自分の価値観を知る
プログラム 事例	<ul style="list-style-type: none">・直島レクチャー（ベネッセアートサイト直島の活動の歴史）・フィールドワーク・島民との交流	<ul style="list-style-type: none">・直島レクチャー（ベネッセアートサイト直島の活動の歴史）・バックグラウンド、制作プロセスの学び・作品制作ワークショップ	<ul style="list-style-type: none">・対話型鑑賞・内省としての作品鑑賞
期待される 成果	<ul style="list-style-type: none">・今後社会に出ていくときに、どのように社会や地域の中でふるまい、貢献していけるのかを考えるきっかけになる・幅広い視野での提案力を養う	<ul style="list-style-type: none">・地域資源を掘り起こすような作品を制作することの重要性を理解する・作品の定義の広がり、制作のヒントを得られる・発想を広げる	<ul style="list-style-type: none">・自己と他者を認識し、自己肯定感や自信をつける。・多様な価値観の理解。

参考例：直島プラン

テーマ

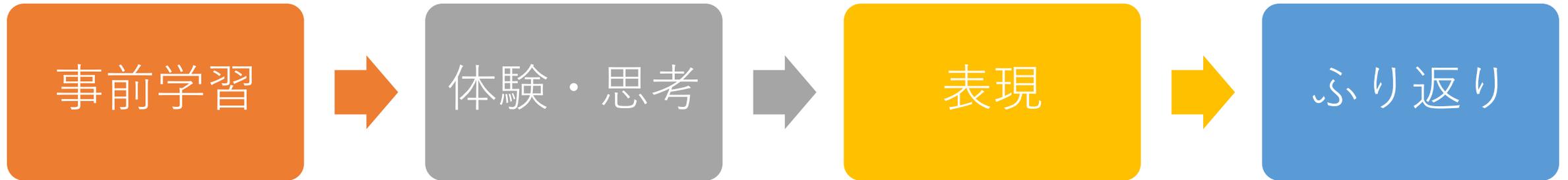
①【個人ワーク】

サイトスペシフィックワークや地域に結びついたBASN作品鑑賞を通じて、アート作品の役割について気が付いたこと、学んだこと、考えたことをまとめる。

②【グループワーク】

新しい作品や、社会システムの提案を考え、ボードに作成して発表する。

プログラムの構成



1週間前くらいに実施

- ①ベネッセアートサイト直島について学ぶ。
- ②期待、学びたいことをまとめる。

直島にて作品鑑賞

- ①自然、建築、アートの共生
- ②地域におけるアートプロジェクト

テーマに沿って考えたことをまとめ、提案としてアウトプットする。

2週間～1か月後くらいを目安に、印象に残っていること、将来に生かしたいことなどをレポートにする。

参考：直島プラン コンテンツ例

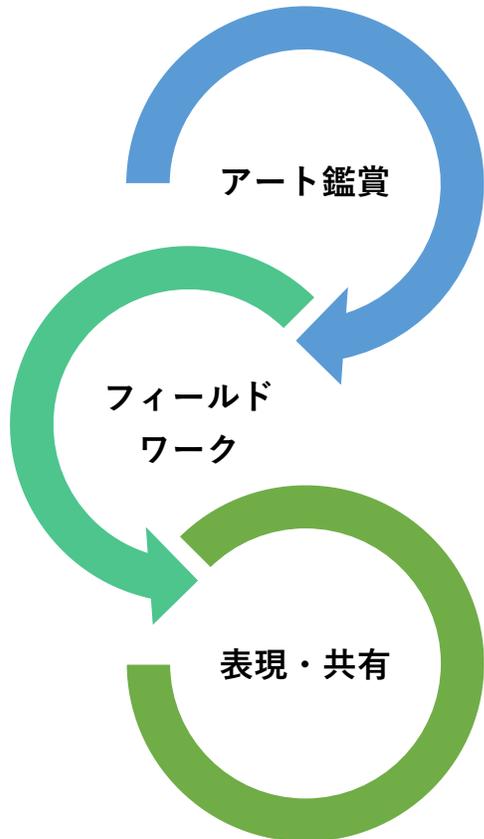
所要時間	場所	項目	内容	ねらい
調整可	ベネッセアートサイト直島の活動紹介	レクチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・30年以上にわたる活動の歩みや目的を学ぶ ・質疑応答 	島の基本情報や活動の背景の理解
各60分	<ul style="list-style-type: none"> ・ベネッセハウスミュージアム ・李禹煥美術館 	アート鑑賞 主体的思考 共感力	対話型鑑賞+自由鑑賞	スタッフとの対話を通して、自由なものを見方を体験する 観察力・共感力を養う 自然との関わり方を考える
120分～	本村エリア (家プロジェクト他)	アート鑑賞 直島の暮らし コミュニティの在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク ・白地図/ワークシートを持ってグループ自由行動 	歴史のある集落におけるアートプロジェクトを見学しながら、地域の歴史、文化、暮らしとアートの関係について考える
30分～	直島銭湯「I♥湯」	アート体験 島民との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴できるアートを体験 ・島民（番台さん）との交流 	絵画や彫刻だけではないアートのかたちを体験 アートプロジェクトと島民との関わりを知る
30分～	直島コメづくりプロジェクト	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの背景や活動について田んぼでレクチャー ・農業体験 	コメづくりを通じて風景を再生し、島民と一緒に育ててきた、アートプロジェクトとしての地域活動を学ぶ/体験する
60分～	<ul style="list-style-type: none"> ・ベネッセハウス内会議室 ・直島ホール 	表現・共有	グループディスカッション	体験のふり返し、アートの役割や新しい提案を考える

参考例：犬島プラン

Benesse
Art Site
Naoshima



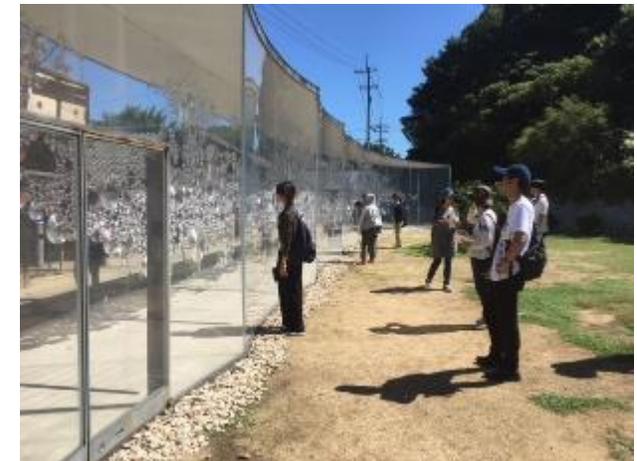
テーマ「社会の課題を考え、これからの暮らしの形を提案する」
所要時間：半日～1泊2日 ※直島との組み合わせも可



銅の精錬所跡と自然エネルギーを活用した「犬島精錬所美術館」、集落の風景とともにある「犬島家プロジェクト」、循環型社会や自給自足を考える「犬島くらしの植物園」があります。犬島は要素の幅が広く、様々なテーマ設定が可能です。

島内を自由に活動し、発見したことや気になったことを記録しながら、犬島の課題や魅力についてまとめていきます。犬島は徒歩で一周できる島なので、交通手段の確保が不要です。

全員で犬島のマップを作成したり、テーマに沿って考えたことについてグループでディスカッションをしたり、作品制作ワークショップをしたり、参加者属性に応じた発表・共有の場をつくります。



参考：犬島プラン コンテンツ例

所要時間	場所	項目	内容	ねらい
60分	犬島精錬所美術館	地域資源	産業遺構の活用 散策	自然エネルギーの活用や作品と建築 が一体化した空間を体験する
60分	犬島家プロジェクト	集落、暮らし	アートを通じて犬島の風景を みる	参加者との対話を通して、自由なも のの見方を体験する 観察力・共感力を養う
30分～	犬島くらしの植 物園	自給自足 循環型社会	スタッフのレクチャーを聞い たり、作業をする	自給自足の生活イメージをもつ 現在進行形のプロジェクトに参加す る
60分～	島内	フィールドワーク	島内を歩いてまわりながら、 見つけたことなどを記録する	地域の課題や魅力を発見する
30分	自然の家など	島民のお話	昔の犬島の姿やアートプロ ジェクトとの関わりなどお話 いただく	島の歴史にまつわるエピソードを聞 く 地域の方との交流、コミュニケー ション
60分～	自然の家など	表現・共有	グループディスカッション 制作、表現のワークも可能	犬島の事例をきっかけに、現代社会 の課題や、これからの暮らしのあり かたなどについて考える